

笑ってごらん

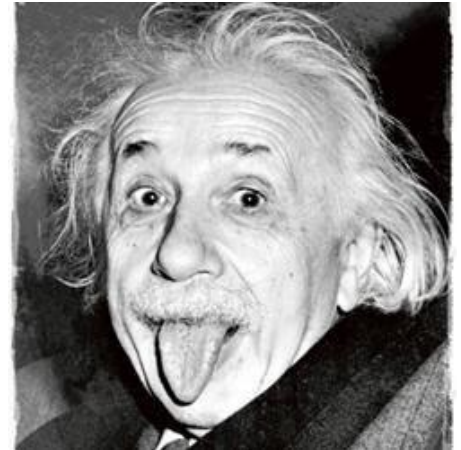
第 584 号 H. 29. 5. 23 発行

～今日のことば～

自信の上には奢りがあり、謙遜の下には卑屈がある。決して、自信に墜ちるな。謙遜に満ちるな。

(俳優 大滝秀治)

◇◆以前書き溜めておいた格言などを眺めていたら、『アインシュタインが残した 11 の教え』が目についたので紹介する。(1) シンプルであること「もし 6 歳の子に説明できないのであれば、それは自分でも理解できていないということである」 (2) 創造性「創造性は伝染する。周囲に移してしまおう」 (3) 挑戦と失敗「失敗を避けるには、新しいアイデアがあればいい」「挑戦をやめるまでは、失敗ではない」 (4) 今を生きる「私は未来のことは考えない。考えなくても未来はやってくるからね」 (5) 型にはまらない「これまでの私の発見は、合理的な思考から得られたものではない」 (6) 想像力「想像とは、研究の最高形態である」「想像力は知識よりも重要である。なぜなら想像力には世界を取り巻く力があるが、知識には限界があるからだ」



(7) 不可能に立ち向かう「バカを試みる者だけが、不可能を可能にできる」 (8) 人を大切にする「私たちは他人のために存在している。なぜなら、私たちが幸せなのは、周囲の人が笑顔で幸せにしてくれるからである」「人生とは、誰か他の人のために生きられない限り、価値のないものとなる」

(9) 共有「生徒とは、教師が知識を流し込む容器ではなく、火を付けてあげるべき【たいまつ】なのである」 (10) 学びを受け入れる「学びは経験である。それ以外は情報でしかない」 (11) 正しいことをする「常に正しいことをしよう。何人かは喜び、何人かは驚くであろう」…如何であろうか？大切な事柄が端的にまとめられていると思う。私たち『教師』という立場にある者にとっても、ドキッと一言も添えられている。是非参考にして欲しい。 ◆経験多き先人の知恵に触れることは、自分の今後にとって意義深い。講演会に参加する、ブログを読む、本を読む……。楽しい時間は一瞬で過ぎ去り、残るものは少ないが、学びの時間はその後の自分を豊かにしてくれる。『学び』は教科書とノートに頼らなくても、積極的に「知りたい」「学びたい」という気持ちさえあれば取り組める。学ぼう、そして、自分を豊かにしよう！

感謝道

◇◆20 日 (土) AM、寮生 104 名を連れ、『吹上浜砂の祭典 2nd ステージ』に赴いた。毎年行われているこのイベントだが、『1st ステージ』が行われる大型連休期間中、寮生の大半は地元へ帰省してしまうため、住民票のある南さつま市民でありながら、地元で行われる大きなイベントに行ったことがない者も多い。今回、南さつま市役所勤務の PTA のご理解と多大なご協力を得て実現したのだ。もちろん現在行われているのは 2nd ステージゆえ、1st ステージの時のように特別な催しも無く、売店も少ない状況ではあったが、生徒たちはイベントの規模に驚き、砂像群に見入り、中には砂像作り体験をする生徒の姿もあった。小一時間の短い時間ではあったが、楽しんでくれた様子に嬉しく思った (ひょっとして、砂像群よりタコヤキなどの方が良かったかな…?)。

◇◆先週、看護学科実習でお世話になっている病院 9 院へご挨拶に赴いた。その多くには既に本校卒業生が就職し、看護師として第一線で尽力している。訪問時にも忙しかろうにわざわざ顔を見せてくれた人もいた。そして、院長先生や看護部長様からは「本校の実習生は挨拶・態度が良い」とのお言葉をいただいた。大変嬉しかった。今月末からは基礎課程 2 年生が実習入りする。緊張するであろうが、笑顔を忘れないように！